

マリア様をみてるのよ



マリア様がみてる～春～後半感想本

PARALLEL ACT

はじめに

個人サークル PARALLEL ACT 主催者 TomOne と申します。

今回の本は、『マリア様がみてる～春～』La vierge Marie vous regarde ~ printemps ~ 後半の感想本です。一度、NetNews に投稿した記事の再編集です。基本的に投稿したままですが、多少の加筆修正がしてあります。

また、画像は DVD の該当シーンからの引用です。

それではお楽しみを。

目次

はじめに	i
第1章 各話感想	1
1.1 第8話：銀杏の中の桜 Un cerisier parmi des icho	2
1.2 第9話：ロザリオの滴 Des larmes du chapelet	9
1.3 第10話：黄薔薇注意報 Prenez garde des roses jaunes	15
1.4 第11話：レイニーブルー Un bleu pleuvieux	21
1.5 第12話：青い傘 Le parapluie bleu	29
1.6 第13話：パラソルをさして Avec un parasol	36
あとがき	49

第 1 章

各話感想

1.1 第8話：銀杏の中の桜 Un cerisier parmi des icho

銀杏って、icho で良いんでしょうか？ そりゃ銀杏は日本と中国にしかない生きた化石ですけど..... 英語だと ginkgo と、漢字の中国語読みっばいですが。

と思ったら、やっぱり ginkgo の様です。

<http://gourmet.zubapita.com/user/002/gonta/>

彼女の家はお寺なの

へえ、へえ、へえ。つうか、周りとしてはこの程度でしょう。

前回の続きから始まります。

バス停の二人

前回と同じシーンからです。

お寺の娘で、それなのにリリアン女学院に通っている矛盾

えっと、どこが矛盾してるのか分からないのですが (^_^;

中学の時、高校説明会に来たミッション系の学校の教頭は仏教徒でした。それよりはマシかと。

12歳で勘当を頼む

志摩子さんって、誰かが止める人がいないと、その内とんでもない事しでかしそうです (^_^;

素性は秘密

檀家に知られるとやっかいと言うよりは、おもしろがってるだけでしょう。つうか、檀家と賭けしてるし (^_^; リリアンの制服着て歩いて、ばれない方がおかしいというもの。だから、家を出る時は友枝小やセーラーヴィーナスの服を着て、途中で着替えているという同人誌がありました(笑)

バス

今日のバスは大分細かいです。

駒なら、ありますけど

舞台女優の科白はないですね。尺足りないし。祐巳の後ろを取ったカットは、番宣の物ですね。

出歯亀中

祐巳と瞳子が出歯亀です。仲良しに見えます。つうか、リボンの色がパールックです。ただの偶然でしょうが、瞳子派にはたまらないでしょう。

ショックな祐巳さま

乃梨子という下級生に負けてる同期。瞳子という下級生に読心されまくる上級生。形無しです。

陰湿な虐めカット。

この頃、乃梨子には革靴を数 m 離れた所に置かれる、上履きにクリップが入れられる、机の端に「ドラえもん」が描かれる、という陰湿な虐め(笑)が謎の縦ロール少女(爆)により行われますが、カットです。まあ、大して重要ではないですが。

志摩子さんと乃梨子の抱擁

廻ってるよ。廻ってるよお (^_^;



図 1.1: く~るくるまわ~る。く~るくるまわ~る。



図 1.2: チャ~ンス

抱擁 数珠も好き? 巾着袋の授受

原作だと、どれも日付が違いますが、一気にやっています。

祥子お姉さま!!

抱擁してたのに、何事もなかったように座ってる二人がおかしいです。



図 1.3: 子供にやましい所を見られた夫婦

人の鞆を勝手に開ける

こいつは(--; なお、原作ではたしなめるのは祐巳ですが、祥子さまに変わってます。友情です。

確信犯は手に負えません(^^;

マリア祭の宗教裁判

原作だと「名探偵瞳子の事件簿 消えた数珠の謎」です。この後、令さまに「あなたは部外者だから、少し引っ込んでろ」とたしなめられます。アニメだと、瞳子の案が全面採用されたように見えます。

乃梨子さん、薔薇さま方がいらしてましてよ

おや、新聞部の新入部員?(笑)

乃梨子の顎を掴む^{ロサ・フェティダ}黄薔薇さま

この人は、普段からこんな事してるんでしょうか？ (^_^;; 周りから黄色い歓声が上が
りそうです。

それにしても、後ずさる乃梨子ちゃんがプリティーです (*^^*)



図 1.4: 三つ編みの方が似合うのに vs 何？ この変態

数珠泥棒

実は数珠マニアがリリアンに!?(いなないない)

お待ちください!

なんか声が鎧っぽいです(笑)

可南子来た

!!

画面左側に、細川可南子～身長 179cm がいます。やる気なさそーな顔が彼女らしいです。でも、廊下側に移動しているので、興味はあるようです(笑)

同じ1年椿組なので、居て当然なのですが、今期出ないと思われいたので、意外です。

でも、リリアンの生徒って、背が高いですね。可南子の目の辺りに頭があると言う事は、165cm はあります。



図 1.5: 可南子の前の女の子萌え

あなたには、こちらの方がお似合いよ！ カット

この科白がカットされたのは残念です。余裕はあったのに。

ついでに、なんか生徒が椅子の上に立っているように見えます(^^;



図 1.6: リリアンの生徒はお行儀良く……

ギャラリー退場

なんか、人が減ってます(^^; 席ががらがらです。

持ってきたけど、自分のじゃない。

頭の回転早いですね。直ぐそこに気づくとは。

なお、この頃真美さんは、後ろ手で速記やってます(笑)

せっかく^{かば}庇ってくれたのに、ごめんなさい

本日、3回目の抱擁シーンです。

盛大な拍手を！

最大の晒し者に(^^;



図 1.7: 私はここにいてもいいのね!! おめでとう。おめでとう。

まるで悪役みたいで。

つか、悪役だろ(^^;

半日デートというのは？

お聖堂のシーンで終わるかと思ったら、デートの約束までやりました。このシーンやっとなないと、レイニーが成り立たないので、やって当然でしたね。

でも、デートくらい普通にしたら？

マツケンサンバII

瞳子が勝利の踊りを(違

予告

次回、「露挫^{ロザリオ}璃緒之滴」です。もう、普通の予告は望めないのでしょうか(笑)

総評

1巻の内容を2話でやったので、大量のシーンがカットです。ばあさんや爺さんがカットなのはどうでも良いですが(ヲ、幾つかの名科白カットは辛いです。

順番は時系列になっています。分かりやすくはなってますけどね。原作だと、志摩子・乃梨子視点が「銀杏の中の桜」として前半に、その他のキャラの暗躍が「BGN」として、別の章になっています。こっちの方がはらはらしてて良いです。舞台裏を覗いているような感じにもなるし。

真美さんが何故前にいるか？ サーモンピンクの薔薇の花と、立ち位置から^{ロサ・ギガンティア}白薔薇さまの助手という事はかろうじて分かります。彼女、科白無かったのにクレジットにはしっかりとカウントされてましたね。喋ったのは別の生徒でしたが。

1.2 第9話：ロザリオの滴 Des larmes du chapelet

いばらの森2

令さまが読んでいた、新刊の文庫とは「いばらの森2」の様です。原作だと、佐々木さんが春日さんに続編の提案をしているので、それが出たという事なんでしょう。半年で文庫本を1巻出した事になりますね。



図 1.8: 今度のはのろけ話？

ロサ・ギガンティア・アン・ブトン そろそろ白薔薇のつぼみを

原作だと、乃梨子ちゃんです。そこで、回りくどいやりとりが続きます。アニメだと、尺も短いし、ロサ・ギガンティア・アン・ブトン「白薔薇のつぼみ」とはっきり言った方がはっきりします。

紅茶芸

原作だと、『誰にも真似できないほどの見事な紅茶しぶきを、水芸のごとく口から噴き出した』とありますが、大人しめです。あまり噴いたように見えません。せいぜいテーブルクロスが濡れるくらいにしか見えません。



図 1.9: 水飛沫は消毒に必須

じゃあ、ロザリオは!?

“令、その前に謝れよッ!!” 祥子さま心の叫び。



図 1.10: アニメだと少なくて良かったわ

部外者が薔薇の館に出入り

手伝いはともかく、部外者の出入りは蓉子さまの望みでしたが。

祐巳の存在を知らなかったから

どっかの感想で、『これは祐巳以外が妹なのはあり得ない』と言う事を表しているというのを見かけました。その通りだと思います。でも、放送では2週間後、作中ではあの事件の真っ最中(^^;

なお、この辺りのやりとりは、原作だと薔薇の館で、志摩子さんの前で行われます。

志摩子にも、切っ掛けが必要なのかしら...?

また何かたくらんでる?(笑)

わ、嬉しい

そんなに喜ばんでも(^^;



図 1.11: デートよデート♡

聖書朗読部

ありえな～い。

別の活動

瞳子ちゃん、洞察力凄いですね。さりげなく姉妹になる事、山百合会幹部になる事を意識させます。

志摩子さん、誰かに言われたの？

乃梨子ちゃんも負けず劣らず洞察力凄いです。

新1年生で、洞察力が無いのは、祐巳を天使とのたまった可南子くらいです(爆)

世界は二人だけで構成されているわけじゃないよ

聖さまも、これに気づけばあんな事にはならなかったでしょう。

今日のあなたは、お客様で良いの

ま、一日目なんてそんなもんでしょ。

ここで、令さまが祐巳に紅茶を頼んだのは、さりげなく重要だったりします。

代弁者

お姉さまは心配性(笑)

大口開けて笑っている白薔薇さま

あんまり大口にも見えませんが。でもこの二人、どっちを向いて喋ってるんでしょうか？ 普通向かい合って喋るものでは？

聖さまと同じ迷路

栞との事でしょう。でも、何で入学前の薫子さんが知ってる？ 又聞き程度では分からない事情だと思うんだけど。

人の心の中が見えたら

モンスターが見えたりして。

悩み、人間よ

志摩子さんの悩みは、買おうと思ってる商品にいまいち踏ん切りがつかないのと同じに見えますが、悩む事は大事です。

ごきげんよう、^{ロサ・ギガンティア}白薔薇さま

ここは、志摩子さん、祐巳、由乃が3人で歩いていて、声をかけられます。しかも、「志摩子さん一人にいる時よりも、3人一緒の時の方が声をかけられる」という説明まであるシーンで、全然逆です。

志摩子一人に焦点を絞ったんでしょうが、ならむしろカットしても良かったかもしれません。

#でも、声をかけた一年生プリチーだったので、カットは惜しい(ノ

ただ、このシーンは「ロザリオの滴」と「黄薔薇注意報」と「レイニーブルー」が同一時間を共有している事を示すシーンでもあったので、次週が心配です。



図 1.12: リリアンの生徒は脇役も可愛い

駆けるゴロンタ

原作だとめっきり出てこなくなり、ロサ・カニーナに拉致られたと噂のゴロンタです。前足と後ろ足が同時に動いてますが、そういうものなんでしょうか？ 同じ猫科のチーターとかはそんな風に走ってたと思いますが。

志摩子さま

他校から来た人は、慣れないでしょうね。「さま」付けなんて。

刃向かう乃梨子

志摩子さんを庇ったつもりなんでしょが、火に油です。

学生時代の2つは大きいの

そう、おばさま(爆)

究極の選択

乃梨子をとりま~す(マテ

気楽な学園生活

いや、後ろ指刺されまくる生活だと思うな(^^;

ごめんなさい

両方要らない、と(違

私は一体どうすれば？

原作だと、「私にどうしろって言うのよ」です。この、彼女らしからぬ、せっぱ詰まった、ちょっとだけ乱暴な言葉が良かったんですが。

^{うぬぼ}
自惚れているもん

大きく出ましたな。絶対読心術持ってますね。いや、志摩子さんがあ～んな事をしている隣で立って眺めていたりして。

片手で仲間を、もう片手で私を掴んでおけばいい

原作だと、「志摩子さんがロザリオをくれなかったのは、私がロザリオの重さに気づいていなかったから」と言う説明などがあります。

それが、「片手だけつないで」と「欲張りな志摩子さん」を上手く融合させた科白になっています。「もう片手じゃないよ、両手だよ。志摩子さんの居場所はここだよ。もう、離れる事を考えなくて良いよ。しっかり繋いで良いよ」って所でしょうか。

どっかの同人誌かなにかで既に見たような気はしますが(^^;

そ、数珠みたいに

いや、ロザリオって数珠なんですけど(^^; まあ、この数珠は一般名詞じゃなくて固有名詞ですが。

興味のない相手なら、徹底的に無視

いや、そうなんだけど、あなた祥子さまと何日間付き合った?(^^;

こんなにずぶ濡れなのに、少しも寒くないの

心はしっかりと抱擁。そして濡れ.....(マテ

予告

情熱的、神秘的、飛ばし過ぎ。白薔薇はそうですが、紅薔薇はそうでもないような。黄薔薇は、その通りでしょう。副題も革命とかまっしぐらとかだし。

庶民的、知性的、物好き。志摩子さんって、成績どうでしたっけ？ 少なくとも、読心術は無いですね。由乃さんは.....その通りでしょう。黄薔薇ジャンルは少ないし、オンリーイベントも、紅と白はあっても黄はないし(笑)

総評

原作が単行本の $\frac{1}{3}$ と短い所為か、カットもほとんど無く、良い感じにまとまっています。作画も安定しています。やっぱり、これくらいが良いですね。祥子さまの科白がちょっと早口でしたが。

ここ4週ずっと白でした。来週は黄で、残り3話は紅です。白は優遇されていますね。ま、真の主人公な気もしますが。何せ志摩子と乃梨子がいなければ、マリみてはなかったし。

次週は物好きな由乃ファン向けです。見ないとGドリラーが襲います(違 決して瞳子が襲ってくるわけではありません。多分.....

1.3 第10話：黄薔薇注意報

Prenez garde des roses jaunes

支倉・島津両家

島津家はともかく、支倉家が洋風なのが意外です。裏に道場があるようには見えません。シャワー無しの檜風呂があるようにも見えませんが。



図 1.13: 時代劇風対峙

喫茶店での告白

令さまが食べているのは、バークド・チーズケーキ。由乃さんは抹茶クレープバナラアイス添え。格好も、長袖Tシャツにジーパンと、水色のサマーセーターにカーディガンと珊瑚のペンダントと原作に忠実です。

ただ、アニメだと令さまはフォークを下ろしてますが、原作だと持ったまま。こぼれ落ちたチーズケーキの破片が髪の毛に付いたままと、へたれさを醸し出してます。と言うか、アニメの令さまって、へたれなシーンがほとんど修正されてますね。先週の紅茶芸しかり、江利子さま援助交際しかり。



図 1.14: 実は火花が散ってます

理不尽

まあ、同じ部活に弟・妹が来るのは、接し辛いものではありませんが。

お水はいかがなさいますか？

おや、小山田みゆきさん、ここでバイトを？(違)しかし、渡辺明乃さんって、黄薔薇騒動の時に出てきますね。

これ

仲が良い証拠でしょう。と言うか、亭主関白の夫が妻を指す時に言うような(笑)

万年裸足

原作だと、さらに由乃が冷え性だと言う科白があります。心臓が悪いと、血の巡りが悪いでしょう。改造手術の後なので、その頃よりはマシになっているとは思われます。

退屈しのぎのお遊び

これさえ言わなければ、まだ説得力有ったんですけどね。

ロザリオ返却

頭じゃ拒絶してるけど、身体は正直な由乃。あわやロザリオ再返却。休みの時でもロザリオしてる祐巳ならやばかったですね。

この道って、こんなに長かったっけ？

家から学校まで徒歩8分だそうで。なんと楽な登校時間。私が高校の頃は自転車で40分でした。小学校は徒歩1分でしたけど(笑)

長いモノローグ

原作だと、由乃視点の一人称。流石にそのままじゃありませんが、上手い具合に科白化してます。

じゃあ

原作だと、乃梨子の薔薇の館デビューの話が出るのですが、アニメだとこの3話を絡めるのを避けてるようで、言葉を交わさず別れます。むしろ、喧嘩している雰囲気が出ているかも。

上履きまで馬鹿にして

顔を見せずに、微動だにしない由乃さん。逆に苛立ちが表現されています。いや、原作読んでないと気づかないでしょうけど。

あ～助けて～リボンが決まらない

祐巳ちゃんのツインテールは天気予報もできる優れものです。

昔、天気を百発百中で当てるおっさんがいました。出来て間もない気象庁。彼をスカウトしました。彼はとてもむさ苦しい格好。そのまま登庁させるわけも行かず、無理矢理正装に着替えさせられました。すると、天気予報が全く当たらなくなったそうです。そう、彼は穿いていたふんどしの湿り具合で天気を当てていたと。

野島部長登場

喫茶店でバイトしてたり、忙しいですね(笑)

保科栄子先生再登場

喧嘩を知らない分、由乃と令の関係は冷静に見られてます。と言うか、令が保護者として見られてないですけど。

乃梨子ちゃんが来てくれて、助かってるよ

原作だと、この日は乃梨子デビューです。が、アニメだとそれより少し後のようですね。何日かいたような科白ですし。

それに、祐巳のリボンが赤から黄色になってるし、飾られているのが白薔薇から黄薔薇に変更です。来週似たようなシーンがあったら、紅薔薇になってるんでしょうか？

にこやか

由乃さんの引きつった笑顔が恐いです。



図 1.15: こんな女に色目使ってんじゃないわよ

今度剣道部にも遊びに来てよ

乃梨子ちゃんは良いのね。

熱出して寝込んだ

入部届で熱出すとは、由乃でなくとも呆れます。

剣道場

リアンって、施設施設が結構離れてるんですね。渡り廊下で繋がってる方が少なそうです。

そういや、私の高校では生徒による放火で剣道場が全焼したりという事件も(^^;

もう誰も私を止められないんだから

関係者の一言で部活停止になると、職員会議で決まりましたが(^^;

田沼ちさと登場

女の子の子を具現化したような田沼ちさと再登場です。人気投票したら、男にはかなり受けるんじゃないでしょうか？ 逆に女の子には... 最後のアレがあったのでそこそこ行きそうな。無ければ嫌われキャラの代名詞になっていたでしょう。

ついでに、祐巳に対する瞳子の関係と、由乃に対するちさとさんの関係って似てるような。

白薔薇は平和だなあ。



図 1.16: ちっ！ 来やがったか...

ストレッチ

穏やかな雰囲気です。原作だと、悪態を吐いた由乃さんと一触即発という感じです。

令さまのお加減どうなの？

おや、令さま目当ての入部と告白したようなもんですな。

ちさとさんがいたから剣道部に入れたくない

いや、それはない^^; 鈍感令さまは二人が犬猿の仲だって知らないし。

志摩子さんには抵抗あったみたいだけど

過去形です。原作だとまだ志摩子さんは口ザリオを渡していません。アニメだと、既に渡している様ですね。いや、先週渡したんだけど。

破局寸前

頭では考えていても、心の底では高を括っていたんでしょうね。いざその現実を突きつけられた由乃さんが放心しています。



図 1.17: せっかく大事な物あげたのに...

ドタン

スクワット中の由乃さん転倒。なんか、背中から倒れてます。幾ら何でも背中はないでしょう。

腕立て伏せ

原作だと、膝を付けても3回と続かないとありますが、結構続いています。最も、腕を完全に曲げるのではなく、途中で曲げています。これだと、負担は大したこと無いので、それなりに続きます。

手伝うから、一緒に帰ろう

実は、これでも剣道部の中で一番仲が良いのがちさとさんです。と言うより、ちさとさん以外からは孤立しています。

なんか、いがみ合っていたが、晩年仲良くなった天璋院^{*1}と和宮^{*2}みたいな関係ですね。実は、令さまに由乃さんが嫌われかけているという事に気づいて、仲間だと思ったとか (^_^;

由乃がここにいると、私だめなの

へた令ちゃんの告白です。へた令である事を知っている由乃さんなら、素直に納得できます。他の人なら、まず理解できないでしょうね。

それにしても、内弁慶を隠す由乃さんにへた令を隠す令さま、二人とも外面良いんですね。やっぱり従姉妹(笑)

*1 13代将軍徳川家定の妻

*2 14代将軍徳川家茂の妻

そうかもしれないな

途中の科白がカットされているため、この科白の指している言葉が違ってます。

原作だと、「由乃がいて平静を保てないのは慣れの問題」を指していますが、アニメだと「令ちゃんは弱くなる」って所を指してます。

傘泥棒

置きっぱなしだった傘を勝手に持っていきます。骨が折れているので、持ち主は棄てたつもりかもしれませんが。

原作読んだ時も、アニメ最初見た時も気づきませんでした。まさかこれが重要な伏線になっていたとは。

予告

い、い、い、言えるかな？ 雨の名前～

土砂降り、霧雨、夕立、^{あおしぐれ}青時雨、^{ひさめ}氷雨、^{こぬかあめ}小糠雨、鉄砲雨。暴風雨、酸性雨、血の雨。春雨、霰。

総評

原作が単行本の $\frac{1}{3}$ と短い所為か、カットもほとんど無く、良い感じにまとまっています。つうか、先週も書きました、これ。

個人的には、田沼ちさと嬢がちゃんと出てきたのが良かったです(爆)

1.4 第11話：レイニーブルー Un bleu pleuvieux

遊園地キャンセル

まだ1回目のキャンセルのようです。科白は2回目の科白です。原作の1回目だと、中間テスト前なのと、まだ何の疑いも持っていない頃なので、実に素直に聞き入れてます。2回目は、瞳子が関わってきて、不安が増してきてます。アニメだと一遍にやってますね。

祥子さまの、祐巳を見つめる目がすまなさそうです。と言うか、後ろめたそうです。

6月のカレンダー

珍しく2004年のものです。6/3まで線が引いてあるので、今日が6/4である事が分かります。

原作だと5月、マリア祭の次の日から始まるのですが、分かりやすく6月から始まります。



図 1.18: 決戦は日曜日

清子小母さまも、お父さまも、お祖父さまも元気

じゃあ、残りは？

雨の日も嫌じゃなくなる

でもその傘は……

忍者同好会三奈子さま

出たな出歯亀娘。彼女の口から祥子さまと瞳子ちゃんの、堂々とした密会（矛盾）がばらされます。

瞳子は、一緒にドライブできるだけで嬉しいもの

再来週明かされる行き先を考えると、「嬉しい」とはとても言えないような（^^；

紅薔薇革命

破局!! と大きな文字が躍っています。

でも、黄薔薇もそうですが、こういう場合革命じゃなくてクーデターでは？

関係が壊れて欲しくない

余計に追いつめてるようにも見えますが (^_^;

チョコレートコート

腕を組んでいるのが白川寧子やすこと伴真純はんますみ、沈んでるのが林浅香はやしあさかでしょうね。Cobalt 2004年2月号での短編らしいです。

何でも、「寧子が真純と間違って浅香を妹にしまった」とか言う酷い話らしいです。

それにしても、黒いのが恐いです (^_^;; 世界を革命しそうです。



図 1.19: 挿絵と顔が違うような

浮気に二股

なんか、女同士の関係で「浮気」だの「二股」って単語が出てくるのが凄いですね。これも「姉妹スール」と言う友達・先輩後輩以上の密接な間柄から来る影響でしょうか。姉妹制度は、得られるものも多いとは思いますが、いざこじれると質の悪いものになるようです。

明日こそ遊園地デート

晴れる？ 雨天中止の方が確率高そうな (^_^;

それにしても、上手い所でオリジナルを追加してきました。

回転

原作だと、制服が夏服に替わったので回転してます。当然薄手の制服のスカートなので膨らみます。こんな堅いスカートと違って。まるでどっかの13歳メイドのような姿、見てみたかったです。



図 1.20: く～るくるまわ～る。く～るくるまわ～る。く～る...

祥子さんとのデートが、そんなに嬉しいかね

祐麒が呆れて読んでた Tokyo Walker(?), デート特集でしたね。女同士の特集は載ってないと思いますが (^_^;

福沢みき登場

まさか、福沢みきさんが声つきで登場するとは思いませんでした。高校の頃は髪を二つに分けてますが、おばさんになるとそんな事はしてないようで。

これで何回目だと思ってるんですか？

アニメだと2回目です。原作だと3回目ですね。仏様も怒ります。いや、マリア様にしときましょうか。

ベッドシーン

声も出ず、突っ伏す祐巳が色っぽいというか、可哀想というか。



図 1.21: お姉さま、あの夜のことは何だったの？

祥子さまの忘れ物

やけにベルトが細い腕時計ですね。

二人を見つめる祐巳が悲痛です。って言うか疑心暗鬼？

あじさい
紫陽花の七変化

土壌の成分によっても変わってくるらしいです。それで、死体が埋められているという推理もののネタがありました。

人の心なんて、しょっちゅう色は変わるとは思いますが (^_^;

丁度一段落したので

志摩子さんと乃梨子の関係が？

次の約束をください

今まで、祐巳が祥子さまに必死におねだりを言ったというか、困らせてまで迫ったのは初めてではないでしょうか？ 何故祐巳がこんなにも必死なのか、そこまで祥子さまは考えが及ばないようです。

祥子さまに耳打ち

あの話なんでしょうが、何故瞳子はその情報を得たのかはよく分かりません。携帯は校則で持ち込みを禁止されてるし(こっそり持ってるのかも)、校内放送があったわけでもない。もしや、瞳子は祥子さまの連絡代わりとして、公衆電話から家に電話を定期的に行っているとか。まさか何かあった時は、毎回車が来ているとか。

私より、瞳子ちゃんを選ぶんですね

選んだのは祐巳よりもあの人。瞳子はただの付き添い。祥子さまにとっては。

ここで、何故「瞳子を選ぶ」という発想も理解できないし、元から比べる事などあり得ないくらい次元の違う存在でしょう。

「聞き分けのない妹」と言うだけでなく、「天秤に乗せられるだけ信じられていない」事にも怒ったのかもしれませんが。

傘泥棒

学校からの帰りに盗られたように変更されています。そのためか、買ったのはバターではなく、普通の品物のようです。それにしても、急に降り出した訳でもないのに、傘を盗っていくとは。

福沢裕一郎登場

まさか裕一郎氏まで登場するとは思いませんでした。科白は無いですけど。これで、福沢家は全員登場です。



図 1.22: 良かった。出番があったぞ。

私の大切なもの、盗らないでよ!!

お祖父ちゃんの形見の傘、子供の頃から祐巳に元気を与えてくれた傘。替えの効かない特別な傘。今の状況から、祥子さまになぞらえるのは当然でしょう。

また日曜日が来た。

もはや印も付けてません。結構細かい演出です。



図 1.23: 今日は 20 日

小笠原家メイド

あ、山村先生、小笠原家でメイドのバイトしてたんだ(違 原作だと「中高年の女性の声」とあります。中高年……(^.^; まあ、酔っておしぼりを投げつけるような人は中高……ああっ!! サーヤ様の恐ろしい形相が!!

瞳子も一緒だから安心して

3P!?(大違

部屋の中に入れてもらえない

瞳子って、柏木の属性って知ってるんでしょうか? まあ、知らなくても心労が増える事は知ってるでしょうけど。

これが、答え

祥子さまは瞳子を選んだ。そして祐巳は祥子さまとの決別を選んだ。

まさか

由乃さんの微妙な間が、深刻さを理解しています。

会えるような気がしていたわ

そりゃ、下駄箱ではってれば。

あなたには、ちゃんと話さなければならぬわね

ここで話していれば、後の事件は起きなかったでしょうね。

続きをお話になったらいかが?

瞳子自体は特に悪い事はしていないし、その自覚もないので(でもこの娘は本当に悪い事してても、自覚は持たなさそうだ(^.^;)、少しでも紅薔薇姉妹の時間を作ってあげようとする心遣いでしょう。

が、今の祐巳にとっては「見せつけ」以外の何ものでもありません。

雨の中、走る祐巳

結構、決まって走ってます。原作だと鞆は股に当たり、傘もひっくり返って、無様に走ってます。倒れた時もそうでしたが、無様なシーンは見栄えがするように表現されていますね。

聖さま!!

佐藤聖登場。なんかご都合主義的に現れます。原作だと、前に志摩子を心配して現れるし、この日も友人らと帰ってたら「たまたま」出会うのですが、まるで祐巳のために現れたように見えます。

祐巳...

ここら辺から、祥子も廃人モードに.....

時間もなかったんでしょうが、祥子もかける声に分からなかったんでしょう。「祐巳に嫌われた」と思いこんでますから。

お姉さま!!

いや、今叫んでももう遅いって。

それにしても、このシーンの作画、後ろからだ制服がワンピースではありません。前期でもたまに間違えてましたね。

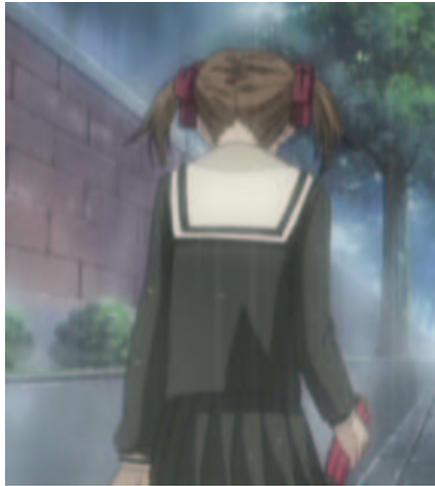


図 1.24: セパレートだと手を差し入れやすい

予告

ことわざ集です。

総評

原作が単行本の $\frac{1}{3}$ と短い所為か、それなりに良い感じにまとまっています。これ書くの3度目 (^_^;

マリみて最大の鬱話。単行本の人、この後3ヶ月待たされ、レイニー止めとして伝説に残っています。

端から見ると、お互い胸の内をさらけ出さなかったのがこじれた原因ですね。ヴァレンタインの失敗を、まだ消化しきれてないようです。

こじれた二人も不幸ですが、最大の不幸は勝手に悪役にされた瞳子のような (^_^;

1.5 第12話：青い傘 Le parapluie bleu

捨てられた子猫

アバンタイトルは先週のラストでした。OPの短い間に、制服をセパレートからワンピースに着替えています(違



図 1.25: 一瞬でワンピースに!!

ちょっと寄ってらっしゃい

原作だと傘でお辞儀していますが、アニメだとしません。作画が面倒だったんでしょう。それにしても、眼鏡が恐いです。多少透けているのが救いですが、不透明だったらかなり恐いです。

その姿

ぼろ濡れの雑巾みたいな姿。ちょっと萌えるのは内緒だ(笑)

豪華下宿

離れとはいえ、一戸建ての下宿とは凄いです。なんか「書生」って感じです。

サービス♡サービス

祐巳ちゃんのシャワーシーン!!!! まさかこんなものが拝めるとは思ってもいませんでした。少女漫画・アニメの主人公は必ずお風呂に入らなければならないという掟をちゃんと守ってくれました。

DVDだと修正が入って、足とバストショットだけでなく、全身カットになります(なりません)。



図 1.26: お風呂から始まるラブコメディ

制服乾かし中

リリアンの制服は、襟とタイがかっついてます。普通はスカーフですよ。こういう例は聞いた事ないですが、どっかで採用している学校はあるんでしょうか？ それにしても、型紙がどうなっているか気になります。



図 1.27: ブルセラショップに持って行けば高値.....

着替え終了

この時の下着は、100均のタンクトップとショーツ。前の下着は、ブラジャーとスリッパとショーツ。濡れてるので再度着るわけにもいかないでしょう。それに、思春期の女の子のショーツは直ぐ汚れるし(マテ

いいの。やらせて。.....むしろやりたい

ぐひひ、女子高生の制服.....

それで、あなたのお名前は？

加東景/斎賀みつき：ナージャの白薔薇、㊦王のヴォルフラム、びたテンの天

あの人嫌いだった聖さまが、名前も知らない人の家に上がり込むなど、どこをどうやったらこうまで変わるものやら。

ぼろぼろの現国の教科書

これを使い続けるって、機能的にも精神的にも辛いものがあります。他の娘に訊かれる事もあるでしょうし。まあ、これは「祐巳さんのドジ」で納得されるかもしれませんが。

元に戻らないシミの付いた教科書。これは私たちの関係。もう、戻せない...



図 1.28: 思い出ボロボロ

祐巳……！

人目をはばからず抱きつきます。アニメの方が理性が少ないようです。でも、より感情がストレートに表現されています。祐巳は由乃さんの数少ない友人の一人ですから。

でも、今度は祐巳が由乃さんに鞍替えしたとか、令さまを捨てて祐巳さんに鞍替えしたとか言う噂が… 立たないか、流石に。



図 1.29: ぐひひ、祐巳さんぷくぷくして気持ち良い～

二人の会話

由乃さんの、自分だったらの科白が追加されてます。實際上履きに当たってたし。

祐巳さんとお近づき

気を遣ってるのか、素でお近づきになりたいのか、声をかけられます。まさか祐巳の立場を利用しようと……（リリアンの生徒にはそんなのいません。）



図 1.30: 後でサイン貰おうかしら

最低

原作だと、偶然すれ違うのですが、アニメだと単独乗り込んで来ます。パワーアップしてます。

おや、自分から去って行ってます。原作と違って一人なので当然ですが、原作だと一緒に歩いている友人に連行されていきます。凶暴さの表現は、どっちもどっちですね。

さて、この時の瞳子は、祥子さまと祐巳さまが仲違いした事を知っています。そして、祥子さまが「祖母の病状の悪化」と、「祐巳に嫌われた」と二重のショックを受けている事を知っているでしょう。

さらに、瞳子は自分がずかずかものを言う性格なので、祐巳が言いたい事も言わずに自滅したとしか映らないのでしょうか。イライラするでしょうね。

それに、「祥子さまは事情を話せない理由がある」「祐巳さまはうじうじ黙ってるだけ」その結果、「祥子さまが精神的ダメージを受けた」祥子サイドの瞳子としては、これは許せないでしょうね。

尾ひれの付いた噂

ミルクホールで5枚目の皿に手を出した祐巳に、瞳子が「ぱっきゅる～ん」と奇声を上げて飛びかかり、平手打ちを食らわせて怯んだ所をロザリオをむしり取った。そして祐巳の化粧が取れ、ソバカスが見えた。

何が祥子に起こったか？

原作だと、真美さんは祐巳の着替えを覗いたりして推理を展開していますが、アニメだとカットです。そして一般論として、「人は自分の知らない所を想像力で補い、有りもしない事を思い描く」と説明し、祐巳は「祥子さまの事で有りもしない想像をしてしまった」と暗に悟ってるようです。

アニメだと、「祐巳の視野が狭い」と原作よりは分かりやすく言ってますね。

池上弓子

人の良さそうなお婆ちゃんです。でも、気むずかしく、あまり笑わず過ごしてきました。変わったのは、やはり祐巳の毒気に当てられたから？

祐巳さんが選んだ

まあ、祐巳には拒否権がありましたから。実際行使したし。

大切にしてくれてるとは思っても、きついことを言われると

ここは、原作だと「好かれているとは思ってなくても」で、瞳子の事を指しています。これが、アニメだと祥子さまの事と、全く違う意味に変わっています。祥子さまが言った事って「怒るわよ」くらいで、むしろ何も言っていない事が問題なのに。

シルエットの二人

恐らく、左の人物が弓子さんですね。右はあの人でしょう。そして、昔強い事を言われて別れたんでしょうね。



図 1.31: かしらかしら、ご存じかしら？

仏壇の代わり

景さんが4歳の頃の家族写真です。この頃はの景ちゃん萌え(*^^*) お母様も美人です。



図 1.32: どうして野暮ったく育ったんだろう？

新しい母が来てくれたおかげで、外に出る事が出来た。

これだと、子離れしていない父に、新妻をあてがったみたいですが。

原作の「倒れた父の看病で休学するも、新妻が看病してくれたおかげで復学」って言うのより、えらく簡単です。

その分、祐巳の狭い視野を、広げさせようとする説明はやりやすくなっています。

原作だと、「人間万事塞翁が馬」な間接的な説明というか、「なるようになる」って感じで展開していきます。

大切なオモチャ

祥子さまにしか目が向いていなかったから失敗した。原作だと次のシーンで気づくのですが、今までの誘導から早めに気づいています。

由乃さんはキョトンとしてますが、黄薔薇姉妹もその傾向はあると思うぞ。

とりあえず、祥子さまは祐巳にとって「オモチャ」と。メモメモ（。。）

帰ってきた青い傘

4Pにも渡る長々とした話を全部すっ飛ばして、青い傘登場です。

祐巳の所有物が戻ってきました。祐巳の知らない世界を覗いて。その間、祐巳も傘の知らない10日間を過ごしました。



図 1.33: 爺さんと幼稚園児の傘

この傘のように、色んな人と出会って、優しさに触れて、アニメだと、「優しさ」ってのが祐巳さんだけなってますね。原作だと、何故か傘が繕われてたりしてました。

少しだけ、強くなったような気がします。

主人公として、一皮剥けたようです。

予告

同人ではよくリリアン戦隊とか出てきますが、まさかオフィシャルでやるとは。そういや、ボイスラッガー・ローズがここに!?

さて、来週は仏像を取り戻しに行くお話です。どうぞ期待(大嘘

総評

単行本の $\frac{1}{2}$ のアニメ化のため、大分カットや、構成が変わっています。祐巳ちゃんの下着や、真美さんが祐巳ちゃんの着替えを覗くシーンがなかったのは残念です。代わりにシャワーシーンは素晴らしかったです。DVDでパワーアップを期待。

次週はとうとう最終回です。果たして桂さんは出られるのか!?

1.6 第13話：パラソルをさして Avec un parasol

アバンタイトル

今週はありません。最終話に OP や ED がなくなるアニメはよくありますが、アバンタイトルがなくなる例は珍しいです。本編に多くの時間を割くためかと思いきや.....

老いた手と手

彩子さんと弓子さんですね。何十年かのわだかまりを超え、再会を果たしました。

そして、祥子さんは二人のリリアン時代の写真を眺めて涙します。二人はこれだけ仲が良かったのに、何十年も別れていた。今の私達のように.....

それにしても、このシーンはアバンタイトルに持ってきた方がすっきりするような。いや、弓子さんが仲直りのために差し伸べた手と、祐巳さんの前向きな手を掛けたんでしょうけど。

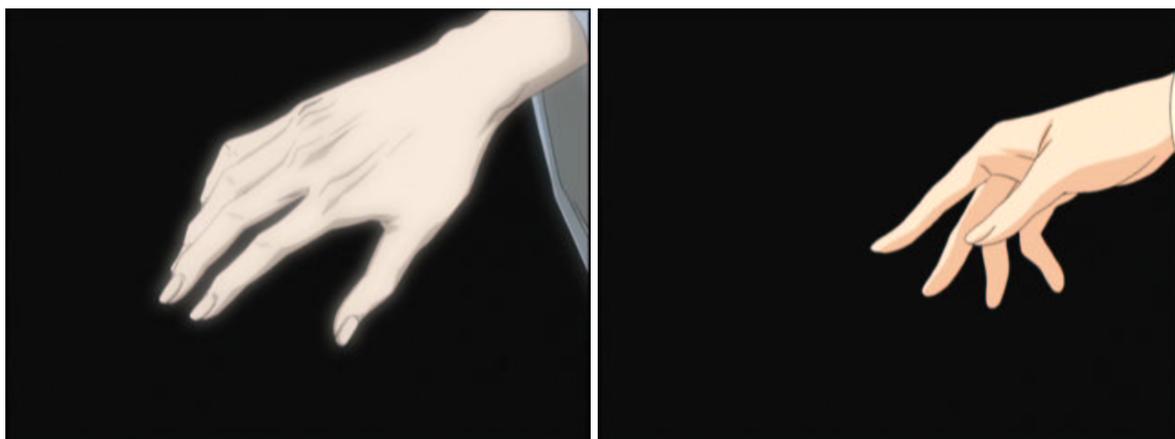


図 1.34: 私の手も昔はぴちぴちだった...

薔薇の館に復活

再び現れた祐巳を見る志摩子さんが嬉しそうです。

大量の書類

この学園祭の企画書、作ったの？ 凝ってますね。



図 1.35: 薔薇の館にワープロってあったっけ？

学園祭の準備って、大変なんですね

乃梨子ちゃん、あなたは生徒会役員経験者じゃなかったっけ？ まあ、中学の文化祭とは規模も、生徒の自主企画量も全然違うでしょうが。

それにしても、この薔薇の館の段ボール量が、事態の壮絶さを物語ってます。

祐巳さんか由乃さんが妹を作ってくれた方がいいわ

薔薇さまの、つぼみ達への決まり文句を言うようになりました。

祐巳さんが元気になって良かったわ

元気な君が好き。赤い、リボンもキリリと...

スカウト

瞳子と、山百合会の手伝いにスカウトです。当然の事ですが、大分端折られてます。

聖さま仕込みのスキンシップと言ってますが、せいぜい手を取る程度です。原作だと、腕を組もうとして、振り払われます。でも、顔が赤くなった瞳子ちゃんが見られたのは最低限クリアしてました。

あと、拳を振り回すオーバーアクション瞳子ちゃんや、「わざと仲よくみせる必要はないんです」の科白がなかったのは残念でした。



図 1.36: 嬉し恥ずかし

ついでに、ローアングルからの顔が黒祐巳を思い出させます (^_^;



図 1.37: もうすぐ落ちるわね...

祐巳さまは、案外冷たいんですね

その20cmはある書類をコピーしろと(^.^; 2000枚はあるぞ(^.^;; そりゃ、冷たいと言われるわ(違

このシーンは、大幅に改変されています。アニメだと、祥子さまを放っている祐巳を非難しています。が、原作だと、「祥子さまが休んでいるの何で~」と、しつこく付きまといま



図 1.38: ペーパーだってこんなに配ったことないよ

席替えしてください。

先程のシーンの意味変更で、精神衛生上の問題の意味が変わりました。アニメだと、「こんな冷酷な人の隣には居たくない」ですが、原作だと「こんなに LOVE 光線を浴びせられると、瞳子はたまらなくなって祐巳さまを押し倒してしまいます！」です(マテ

そして、令さまへの嘆願も大人しめです。原作だとぶりっこ(死語)全開で頼んでます。まあ、ぶりっこなんて女子には、特に由乃さんで慣れてる令さまには通じませんが。

さらに、瞳子はこのままでは理性が崩壊してしまうと、薔薇の館を逃げ出しますが、普通に場面転換してますね。

この後の追い掛けっこは、尺の関係上仕方ないにしても、この辺りの瞳子ちゃんは可愛くてしょうがないのに。

弓子さんのご旅行

瞳子ちゃんの外面の良さはカットです。まあ、仕方ないです。淡々と、弓子さんが昔の清算への想いが語られます。

所で、この場所何処なんでしょう？ 噴水は大学の敷地にあるんですが、祐巳と瞳子が立っているのは、高校のマリア像の前です。後の全景でも、噴水なんか無いし。

アドバイス

乗ってます (^_^; 自分が立場的に有利だと感じた途端にオーバーアクション全開です。まさか自らバネまで揺らすとは (^_^;



図 1.39: みよ~ん、みよ~ん

マセラティ 3200GT

私は車は全然分かりませんが、マリみて掲示板見ると、マセラティ 3200GT だと言ってる人がいました。結構趣味入ってるようです。

右ハンドルですが、両方の写真があるので、右ハンドル車を買ったんでしょう。格好付けるだけなら、左ハンドルなんでしょうけど、運転のしやすさを優先したんでしょうか？案外手堅いです。

でも、首都高で飛び跳ねるのは止めておけ。

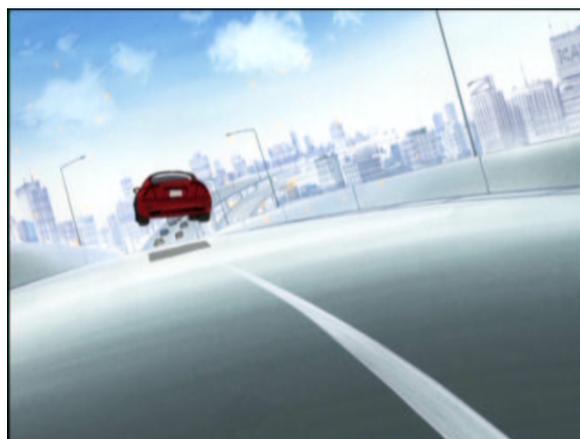


図 1.40: シティ・コネクション

教会

彩子さんの葬式でしょうね。でも、後で矛盾点が。

呼び出し

優等生とまではいなくても、呼び出しなんて食らった事のない祐巳さん。そりゃビビるでしょう。

特別でないただの一日

最新刊の案内です。とうとう学園祭です。いや、学園祭の練習までかもしれませんが。果たして、祐巳の妹は決まるのか!?

帰ってきたマツケンサンバII

やっぱり、バネが揺れてたからでしょうか？ (^_^; ;

校門に来てるのよ

巷では並薔薇さまと慕われ、絶滅危惧種として扱われている桂さん（名字はまだ無い）。七三こと、真美さんに役を盗られました。尺の関係でカットされる事が最も恐れられていましたが、まさか真美さんに役を奪われるとは予想外でした。ああ、何処までも不遇……



図 1.41: 桂？ そんな人いたっけ？

グラビア撮影会

いけません。薫子さんのカメラは女子高生専用です。機内食さえ写さない彼女が、男子大学生を写す筈がありません。

今回、やけに柏木の扱いが良いです。腐女子へのサービスかもしれませんが、柏木は不人気投票をしたら恐らく1位になるような人物。男が出るだけでもブーイングが出るような作品(笑)で、こいつを出すのは逆効果では？

#なお、2・3位は瞳子と可南子ではないかと(爆)



図 1.42: 男に群がる女子高生ゲット!!

蓉子さま登場

なんか、やけに襟が高いシャツですね。

きっと祥子が悪いんでしょ

流石お姉さま、よく分かっているわ。

別の所で手を合わせてきたから

ここでかなりの矛盾があります。

在校中はここを通り過ぎる度に手を合わせた筈なので、別の所でマリア様に手を合わせても問題ない筈。すると「彩子さんの葬式はキリスト教(カトリック)以外で行われたため、同じ日に別の宗教の偶像に手を合わせる気にはならなかった」と考えられます。

しかし、アニメでは葬式はカトリックで行われました。蓉子さまの行動がおかしくなります。

人並木

蓉子さまは毅然としてますが、祐巳ちゃんは顔が赤いです。そりゃ恥ずかしいですよ。アニメだとカットされましたが、ロサ・キネンシス・アン・ブウトン紅薔薇のつぼみが王子様の車に乗った事で、黄色い声が上がりました。でも、ロサ・キネンシス元紅薔薇さまには上がらず。似合い過ぎていたのか、在校生じゃ無いからか、既に顔を忘れられたか(笑)

ネタばらし

ここ暫くの、祥子さまと瞳子ちゃんの不可思議な行動の真相です。

清子小母さま登場

原作通り黒い着物です。でも、教会に着物は変でないかい？ いや、カトリックが日本に来てから450年は経ってるけど、どうも違和感があるような。

あたしにはどうにもできない

ここで、最大級の重要な科白・事実がカットです。それは、「祥子が祐巳に嫌われた」と思いこんだ事です。祐巳依存症の祥子さまが廃人になった最大の理由がカットとは納得できません。これだと、祖母が亡くなった悲しみだけみたいです。マリみて最大のテーマ「^{スール}姉妹の絆」がカットと言うのは作品を根底から揺るがします。

泣き腫らした祥子さま

原作だと、ここ数日ろくに食べていず痩せてやつれていたのですが、そこまではなっていないようです。

全面透過光の抱擁シーン

立ち上がる気力有ったんですね。てっきり座ったまま抱き合うものだと思ってましたが。



図 1.43: もう少しで祐巳の唇...

お祖母さまの事を考えると、泣いてしまいそうで

ここも変更です。原作だと、彩子さんが口止めしてます。まあ、これを説明すると長くなるし、この変更も特に違和感ありません。

これは夢なの？

彩子さんと弓子さんの交わす会話が、祥子さまと祐巳の交わした科白が同じです。これはニクイ演出ですね。原作だとなるだけ様子などには触れないようにしてるのですが、それ以上に踏み込む事によって、感動的に仕上がってます。

そういや、“saiko”と“saTiko”、“yumiKO”と“yumi”と、名前も似ています。「彩」と「祥」の感じもどことなく似てます。

あなたが好きな

二人を薔薇の花が埋め尽くします。やり過ぎ(^^;



図 1.44: 薔薇は薔薇は気高く咲いて

写真立て

彩子さんと弓子さんのリリアン時代です。原作だと、祥子さまを「彩子さん」と呼ぶくらい似ています。

二人ともロザリオをしていて、どういう関係かはよく分かりません。令と由乃のように両方ロザリオを持っている姉妹スールもいますが。弓子さんが「彩子さん」と呼ぶ 彩子さんは弓子さんの姉ではない。彩子さんが弓子さんを「あなた」と呼ぶ 弓子さんは彩子さんの姉ではない。と言う事で、二人は姉妹スールではなくただの友人と言う事になるのではないかと考えられますが。



図 1.45: 昔はこんなに美人だったのに.....

お～なかが空いた

まあ、この辺りはカットされても問題ないでしょう。

ED

令さまと由乃、志摩子さんと乃梨子さんが制服で手を取り合っています。元薔薇さま方が制服で語らっています。コスプレ?(爆)

そして、白い日傘^{パラソル}の下で歩くアベック(死語)。原作だと、白い日傘は祐巳の決意の象徴です。アニメだと..... このシチュエーションは常識的にあり得ないので、やっぱり夢かも(笑)

ここまで立派な ED 持ってきたってことは、やっぱりもうアニメは最後って事ですね。



図 1.46: 一年生と二年生と三年生と大学一年生

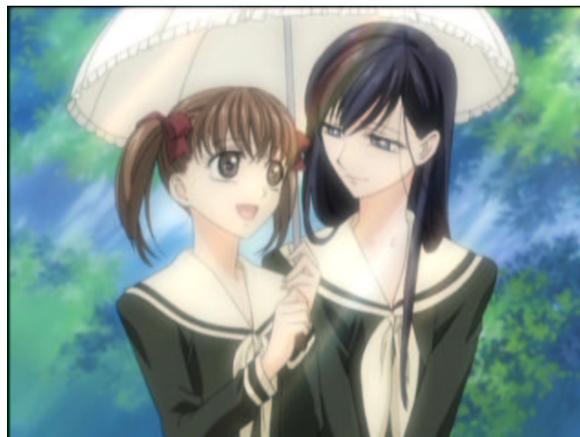


図 1.47: どっちの妄想?

ジャスティライザー

裏番組が特撮だった春ですが、後番組も特撮ですか。

総評

今回、オーバーラップさせた演出が多いですね。「この二人の行動は重なってるんだぞ」って事が多い所為でしょう。

しかし、それ以外は重要な科白のカットや、意味の変更が相次ぎ、矛盾点も目立ちます。私的には不満な最終話でした。

アニメ総評

たまに濃密な回もありましたが、全般的に尺が短く、駆け足だったり重要なシーンのカットが目立ちました。2 倍とは言わないまでも、1.5 倍くらいの話数は欲しかった所です。

第 3 期の予定は無いようですが、DVD の売り上げが多ければ第 3 期や、OVA があるかもしれません。最も、暫くサイドストーリー的な話が続いて盛り上がり欠けるので、その意味でも再アニメ化はし難いかもしれません。可南子登場まで進めば、話進むんですけどね。

何にせよ、動くマリみてや、挿絵の無い登場人物の顔が見れた事は良かったです。

それでは、ごきげんよう。

あとがき

さて、『マリア様がみてる～春～』アニメ版の第2期前半の感想でした。

ようやく『マリみて』アニメ版の感想本を書き終わりました。レヴォの当日の朝に(爆)最近忙しかったので、感想本の編集や絵を描く作業が進みませんでした。

絵は今までベタしか使ってなかったんですが、髪と瞳にエアブラシを少し使ってみました。構図は、最初はもっと凝ってパロとか入れようかと思ってたんですが、時間が無いので単純な構図に...

この本の製作ですが、いつも通り L^AT_EX 2_ε です。本文の製作は普段と全く一緒です。もうそろそろマシンを組んで、Vine Linux を入れる予定なので、今までと製作環境は勿論、本のレイアウトも微妙に変わるかも知れません。

暫く追ってなかったのだから知らなかったんですが、最新の dvipdfmx だとモリサワの OpenType フォントを埋め込むことが出来るらしいですね。無事埋め込むことが出来たら、ソース・PDF DVD-R (もはや CD-R には入らない) の発行を復活させるかも知れません。需要がどこまであるのか分かりませんが。

表紙の色は、松平瞳子なので緑っぽい色にしました。名前としては「うぐいす」となってます。

さて、今後の発行予定ですが、小説本の予定です。感想本は、NetNews に投稿したストックが無くなったのと、感想本を出そうとまではまれる作品が無いので、暫く出ないでしょう。

小説は、マリみてと電腦天使で暫く続けます。次のイベントは夏コミになるでしょう。それでは、またお会いしましょう。

2005 / 4 / 24

誌名	マリア様をみてるのよ
発行	PARALLEL ACT
発行者	村上 智一 (TomOne)
発効日	2005 年 4 月 24 日 (第 1 版)
URI	http://kikyousakura.ne.jp/~tomone/
E-Mail	tomone@kikyousakura.ne.jp

